

3学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和8年4月16日 第5号
文責:江頭 俊輔

[逆転の美学!]

先制点が大切!という話を前号ではお伝えしました。昨日の学力分析テストの手応えはどうでしたか? 「受験生としての1年間」という視点で「先制点」を取ることはできましたか? 「全然ダメだった。」「分からなかった。」そんな人もいると思うので、今回は「逆転の美学」について考えていきましょう。

「逆転」とついているので、今の時点で「まだ学習に対して気持ちが入っていないな～」という人は要注目です! 2年生の頃から伝えていますが、「**受験生が始まります!**」というチャイムは鳴りません。自分で「チャイム」を鳴らすしかありません。ぐっと気持ちを切り替えて、**1日でも早く「受験生」として、学習に励みましょう!**

さて、逆転の美学について。美学というと分かりにくいですが、平たくいうと「逆転は記憶に残る」ということです。これを、美しさを交えて語るのので、「美学」と呼びます。

サッカー界での「逆転」としてとても有名なのは、**2005年5月25日に行われたチャンピオンズリーグ決勝で起きた「イスタンブールの奇跡」**です。(右図は当時出場していたリバプールのメンバーです。引用元 SOCCERKING, <https://www.soccerking.jp/news/world/eng/20180526/764519.html>) チャンピオンズリーグとは、ヨーロッパの全てのサッカークラブが参加し、その頂点を定める大会です。当時黄金時代を迎えていたACミラン(イタリア)とリバプール(イギリス)は決勝戦で相まみえることとなりました。

この試合では、前半にACミランが先制し、そのまま立て続けに2点を取り、前半終了時点で、スコアは【リバプール】0-3【ACミラン】というサッカーでいうと「勝負は決まった」と言っても過言ではない状況でした。(統計上、ハーフタイムで3点リードしているチームの勝率は98%以上だそうです。)「イスタンブールの奇跡」と呼ばれるくらいなので、みなさんも分かると思いますが、ここからリバプールは逆転します。後半9分に1点を返し、その後わずか6分間で2点を取り、同点に追いつきます。その後の試合は一進一退の攻防を続け、試合はPKへ。最終的にリバプールがPKを制し、優勝となりました。

「まあまあ、ここまではよくある話」と思いがちですが、「イスタンブールの奇跡」と呼ばれる理由は、この試合のハーフタイムにあります。失意の中ロッカールームに帰り、監督の指示を受け、後半戦に踏み出す選手たちの背中を押したのが、「サポーター」です。**勝利を信じるリバプールサポーターによるリバプールのチーム歌『You'll never walk alone』の大合唱はロッカールームにまで響き渡ったと言われています。**『You'll never walk alone』は直訳すると「独りで歩いている訳じゃない。」もっと意識すると「いつも私たちがついてる!」リバプールの選手がこの大合唱を聞いて奮い立ったことは言うまでもありません。なかなかない逆転だからこそ、記憶に残りますし、伝説として讃えられます。

[逆転するための準備とは!]

逆転は簡単ではありません。自分だけでなく多くの人の力が必要な場面もあります。**大切なのは、『逆転できる!』と信じて諦めないこと。**今回、先制できなかった人は『逆転』を信じ、これから学習に打ち込むしかありません。始めるのは、早いに越したことはありません。**4月の学力分析テストをいい機会に是非、自主的に家庭学習に取り組み始めましょう。**あつという間に4月中旬です。

SOCCERKING JAPAN WORLD CUP DOMESTIC WORLD YOUTH
日本代表 ワールドカップ 国内サッカー 海外サッカー 育成年代

